2820

Rotary District 2820

CREATE HOPE in the WORLD

3 Vol.9 2024

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

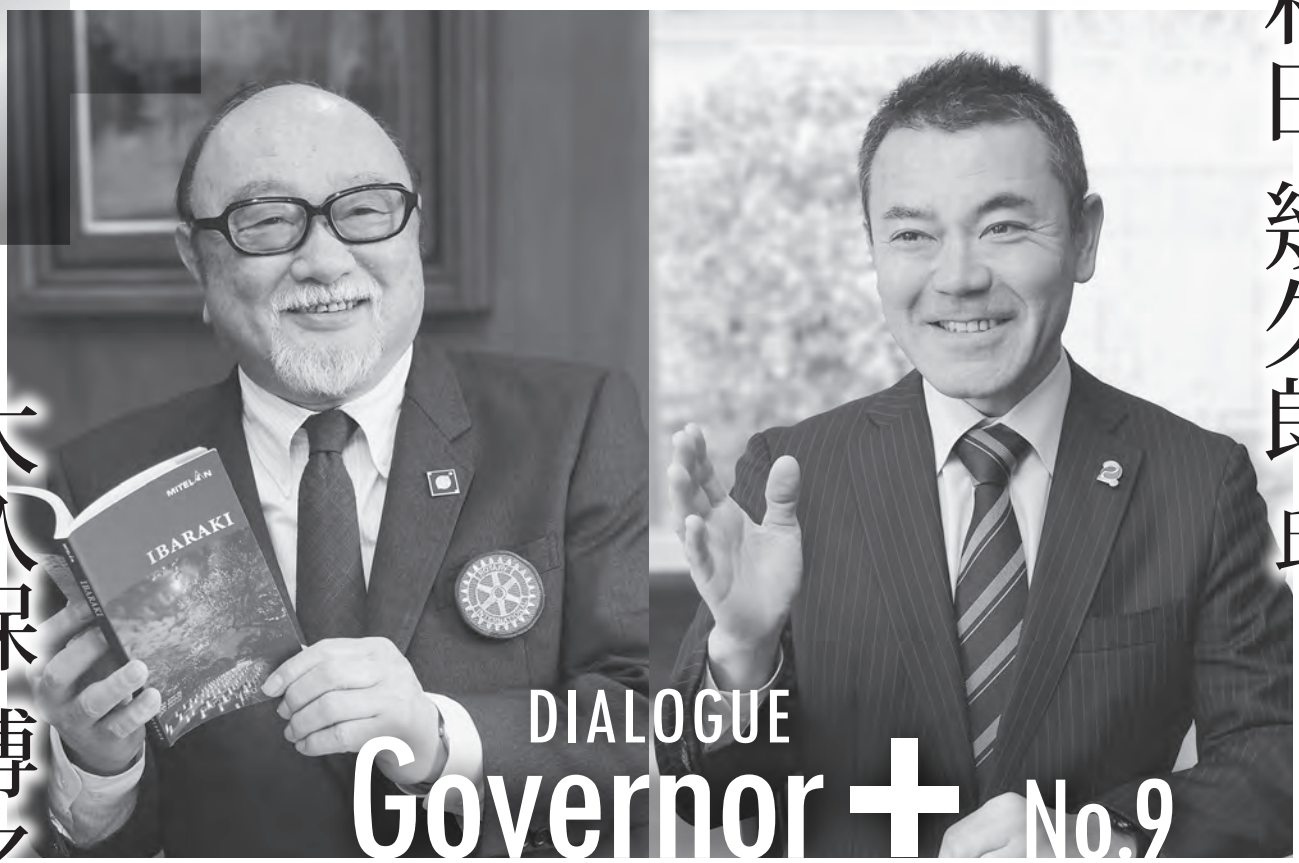
DIALOGUE Governor+ No.9
常陸国ロングトレイルプロジェクト 代表 和田幾久郎 氏
水と衛生月間によせて
第44回ライラセミナー報告
地区ローターアクト活動報告
第5分区ポリオ根絶イベント報告
令和6年能登半島地震緊急支援活動
国際協議会報告・
2024-2025年度 三大セミナー開催日程のご案内
ガバナー公式訪問報告（水戸東 RC）
ガバナー公式訪問報告（土浦中央 RC）
ガバナー公式訪問報告（土浦 RC）
ガバナー公式訪問報告（石岡 RC）
12月会員増強報告
新会員紹介・物故者・
映画会「祈り―幻に長崎を想う刻」平和な世界の構築を目指して
災害支援金の送金のご報告
ガバナーノミニー・デジグネート確定宣言・スケジュール
コラム 私の思い・編集後記・
茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」入手方法について

Illustration 加藤あいり リリー幼稚園

常陸国ロングトレイルプロジェクト　代表

和田 幾久郎 氏

大久保 博之



DIALOGUE Governor + No.9

里山と里を巡るロングトレイルは
常陸国への時間旅行

＜大久保ガバナー＞　まずは常陸国ロングトレイルのコースについて教えて下さい。

＜和田代表＞　10 月 1 日から「茨城県北ロングトレイル」が「常陸国ロングトレイル」という名称に変更されました。これは茨城県北部の 6 市町をまたぐ、開通すると全長約 320 キロの壮大な旅ができる登山道になります。北茨城、大子、常陸太田、常陸大宮、高萩、日立の 6 市町を一周できるラウンド型のコースです。これは茨城特有の里山の魅力を取り上げ、里山に入っては里に下りてきて、また里山に入っては里に下りてきてという生活文化に触れる旅ができるコースを作っているところです。

＜大久保＞　ロングトレイルの魅力は何ですか？

＜和田＞　里山で自然を感じ、里に下りてくる。そのストーリーがすごく楽しくて、例えば、古道・廃道も掘り起こしてコースを作っているのですが、昔の人の生活文化が見えてきます。こういう所を通って生活していたのだとか、うまくコースも作られていて、なるべく楽に歩けるような所がコースになっていたりします。里山は、大きい山と違って、あまり明瞭に整備されていないので、心細さもあります。不安を感じながら里に下りてくると、ほっとして、里が心地いいものに見えます。そこに何百年も住んでいる人たちがいて、人が住んでいれば文化がありますから、歴史と文化を感じて、そこで交流があって、また旅立つように里山に入っていくのです。その繰り返しの感情の起伏がすごく非日常なのです。そのギャップが大きければ大きいほど感動に変わると思うので、それを楽しむための道なのかなと思っています。まさに時間旅行です。

＜大久保＞　ロングトレイルは歩く旅ですが、トレイルランニングについてもお聞きしたいのですが、和田さんはヨーロッパのトレイルランニングの大会に出られたことがあるということですが。

＜和田＞　2013年にフランスのシャモニーを起

点として、イタリア、スイスと、モンブランの周りを回ってくる 168 キロの世界最高峰のトレイルランニングレースに参加しました。

＜大久保＞　どのぐらい走るのですか。

＜和田＞　これは46時間以内で168キロを走るもので、途中、エイドステーションがあるので、休むのも自由、休まず走るのも自由。だけど関門タイムがあるので、その時間内に抜けないとそこで終わりになってしまいます。私の場合は、２晩徹夜で行動し続け無事完走しました。

＜大久保＞　これにロータリーが関係しているという話ですが。

＜和田＞　そうなんです。一番の起点となる町のシャモニーというフランスの有名な山岳リゾートがあるのですが、そこのロータリークラブがこの大会に大きく関与していまして、実際の運営協力から、いろいろな事業に対する寄附金集めとか、山中のとても厳しいところに避難所をボランティアで設置しているのです。

＜大久保＞　話を常陸国ロングトレイルに戻すのですが、その概要はどこで分かるのですか。

＜和田＞　ホームページがあって、「常陸国ロングトレイル」で検索するとご覧になれます。

＜大久保＞　和田さんがコースの選定や整備活動をされているということですが、難しさはありますか。今、熊などが問題になっていますが。

＜和田＞　動物の影響よりも通行許可を取る上でのハードルがありまして、例えば、山でも、国有地と民間の土地があり、民間の場合は、全部地番を調べて、使用許可をもらいます。民間は100％に近い許可を頂いていますが、国有地の場合、専用林道という林業にだけしか使えない道とか様々な規制がかかっている道が結構あって、そこを通れないと迂回を余儀なくされ、大幅なルート変更もありえます。そういったところがちょっと大変ですね。

＜大久保＞　ロングトレイルのロードの中に、温泉とかはあるのですか。

＜和田＞　ありますね。割と小さい温泉でも名湯とされているところが結構あります。

＜大久保＞　それはホームページに載っていますか。

＜和田＞　ホームページのマップの中に落とし込む型で載っています。

＜大久保＞　テクノロジーを使っている事例は何かありますか。

＜和田＞　ルートを安全に歩くために、携帯でGPS が見られて、無料の地図がダウンロードできます。携帯の電波が繋がらなくても GPS は受信できるので、割と安全に歩くことはできますね。ただ、あまりテクノロジーに頼らないというのも一つの魅力です。

＜大久保＞　地域の活性化という意味で、産業との結びつきは何かありますか。

＜和田＞　ロングトレイルのコースがハードとして整備されることには目標を置いていないのです。それがあることによって、トレッキングが好きな人が訪れて、地元の人たちもホスピタリティが芽生えて楽しんでもらおうとします。好循環が生まれると、人がさらに来るようになる。そうすると、今まで過疎と言われていた町も交流人口が増えて、いろいろな人が発信し、さまざまなビジネスが生まれると思うのです。町も元気になってくると思いますし、我々はそういう循環を作るためのきっかけを整備しているにすぎないのです。

＜大久保＞　もう少しビジネスの話をすると、例えば、靴、衣料などの物販、あるいはイベントを運営する団体や会社、そういう方向まで含めるとどうなっていきますかね。

＜和田＞　道具が売れていくという感覚よりも、そこで宿泊業、レストラン、土産物屋さんとか、地元の産業がロングトレイルを目指して来る方の趣向に合わせて、様々なサービスとか物を開発できると、そういうものが売れていき、新たな発想でビジネスが広がると思います。登山人口自体はこれによってそんなに増えないと思うのです。もともとやっている人はあちこちに行きますし、ロングトレイルは、一回山に入ったら入ったきりの本格的な人が多いのです。だけど茨城でやろうとしているのは、里と里山を結ぶトレッキングという旅を演出しているので、また新たな視点になってくると思うのです。ですから、今までなかった土俵を作って、地域の既存の商工業者が新たな発想を持ってビジネスができるかどうかにかかっているのかなと思っ

ています。

＜大久保＞　トレイルをする時の最低の必需品は何ですか。

＜和田＞　登山の三種の神器が靴とザックと雨具です。最も重要なのは靴です。靴は、大した山に行かないとか、初心者だからといって、ちゃんとしたのを買おうとしない方がいますが、逆なのです。体力をカバーしたり、安全に歩くために、靴は良い物を使った方が楽なのです。ですから、靴は最もちゃんとして頂きたいのです。街中を歩いていて、歩けなくなったらタクシーを呼べますが、山は呼べないので、最悪の事態でも生きて帰ってこられる物を持っていかなければいけない。だから、最低限、命を守る道具を持っていく。雨具がまさにそれなんです。雨が降っている時には行かないではなくて、山の場合は最初晴れていても雨になったりするし、雨を防ぐためだけではなくて、例えば足をくじいて動けなくなった時は助けを待つしかないのです。待っている時に雨具を着ていれば、体温を逃がさなかったり、冷たい外気に直接触れないので、体温が保持できるのです。だから、雨具は自分の身を守るために絶対持っていかなければいけません。そういうものはザックがないと持っていけない。あと水と、日が落ちたら本当に真っ暗になりますから、ヘッドライトとか、防寒着とか、安全のための装備はどんな時にも必携です。

＜髙原幹事＞　登山用の靴下も大事ですよね。

＜和田＞　靴下は大事で、靴との緩衝材になるし、発汗時に靴下が汗を吸収して、ほどよく発散すると、靴から蒸れないで出ていきます。だから、裏がパイル地になっている特にウールのソックスを履くと全然違います。まめもできにくいし、靴下はばかにできません。

＜大久保＞　トレイルの魅力は十分聞かせて頂いたのですが、他にもお薦めはありますか。

＜和田＞　特に県北のトレイルの場合は、県内から割とアクセスがいい場所で、いろいろな山とか神社仏閣もたくさんありますし、そういったところを訪ねていくと、知らなかった様々な歴史に触れることができて、新たな発見があります。近いと、そこに意識がいかないものですが、改めて身近なところをもう一回見ていただけるとすごく楽しいですよね。

＜髙原＞　まさに「見て覧（ミテラン）」ですね。

＜和田＞　例えば西金砂神社と東金砂神社から水木浜間を往復する72年に1回の大祭礼があって、日本で一番長いスパンの祭礼です。壮大ですよね。

＜大久保＞　トレイルで気をつけなければならない環境上の問題は何ですか。

＜和田＞　環境上の問題としては、火を焚くのはだめなのと、指定地以外でキャンプしてはだめです。キャンプしていいのはビバークの時だけで、ちょっと疲れたから今日はここでキャンプしようといって勝手な場所でしてはいけない。それから、指定されたコース以外に勝手にコースを作ってはいけないのです。ごみを捨てないのは当たり前ですが、勝手に枝とか木を切ってもいけないし、植物や石を持ち帰ってもいけないですね。茨城も山岳信仰が非常に盛んで、そういったところは修験者が歩いたりしていたのですが、茨城県北山岳信仰の常陸五山は、花園山、真弓山、東金砂山、西金砂山、竪破山ですね。面白いのは、例えば御岩神社は神仏混合ですね。188柱を祭っていると言われていて、日本中の神様を祭っています。日本はそういった意味で大らかで、排除しないのです。実は、今、欧米でSBNRというキーワードが注目されていて、一神教でない人が増えています。そういう人たちが日本の八百万神の精神に興味を持ち、日本を探究しに来たい人が増えているようです。

＜大久保＞　ロングトレイルで、気をつけなければならない危険は何ですか。

＜和田＞　動物や天候です。茨城の場合は熊はいないので、猪です。むやみに食べ物を捨てないことと、例えかち合ってしまったとしても、相手も怖がっているわけですから、目を離さず、徐々に距離をとっていくということが必要ですね。

＜大久保＞　合ったことありますか。

＜和田＞　猪はあります。熊は遠くに見かけました。でも、熊は100メートル7秒台で走って、木も登れるし、追いかけてこられたら終わりです。熊には勝てないから、絶対戦ってはいけない。あとは、天気のリスクです。2時間進んで雨に遭ったら、すぐに避難できるのではなくて、ま

た２時間、雨の中を歩かなければならないので、山の中はすぐに避難できないものという発想で対処しないと大変なことになってしまいます。

＜大久保＞　トレイルコースの中で事故があった時に、どういう連絡ができるのでしょうか。

＜和田＞　我々がつけている道標は QR コードがついていて、それを携帯でスキャンすると、２万 5,000 分の１の電子地図にピンポイントでその場所が表示されます。ただ、それは電波が届かないと使えないのですが、GPS を入れていってもらえれば、自分の居場所が特定できるので、レスキューを呼ぶ時は来るのが早いということがあります。それから、今、ほとんどの遭難は道迷いが一番多いのです。特に里山は迷いやすいので、道迷い対策として一番いいのは、キーホルダーみたいな発信器を持つことです。待っている家族が、帰って来ない場合、そちらに連絡してもらうと、ヘリが確認しに来てくれる。ヘリは助けないのですが、ピンポイントで場所を特定してくれるので、発見してもらえれば救助隊が来るので、まず助かるのです。そういった備えとか、今はいろいろあります。

＜大久保＞　茨城県としてもこれをもうちょっと整備して、日本のトレイルのメッカにしていきたいということですが、いつ頃までに整備できますか。

＜和田＞　来年の３月末で 200 キロで、あと 120 キロですが、早ければ３年、許認可の問題でもう少しかかるとは思いますが、あと５年以内には開通できるのではないかなと思います。

＜大久保＞　そうしたら、320 キロ制覇のイベントをやったらいいでしょう。

＜和田＞　コースができればイベントもやりやすいと思います。今、体験イベントはやっています。自分の感覚で言うと、今まであまり関心を寄せていなかった方のほうが感動は大きいと思います。そこで得る新鮮な感覚は非常に大きいと思います。県内にもトレッキングをするのにいい場所がたくさんあるので、そういった所を歩いて頂くと地域の理解も深まると思うのです。栄蔵室とか花園山も行ってみれば、すごくいい場所です。

＜髙原＞　ロータリーの親睦グループを作ってもいいのですよね。それで各クラブを巻き込んだら結構大きなものになりますし、奉仕もできますよね。

＜大久保＞　経済活動とともにライフワークとしてもこれを発展させていくと思いますので、私たちも何かできることがあれば一緒にやりたいと思います。ぜひ頑張ってください。

＜和田＞　ありがとうございます。

大久保ガバナー　　和田代表　　髙原幹事

PERSON

常陸国ロングトレイルプロジェクト　代表　和田幾久郎 氏

所　　属　水戸ロータリークラブ
生年月日　1967年９月１日
職　　業　株式会社 祐月本店　代表取締役
　節句人形製造・卸
株式会社 ナムチェバザール　代表取締役
　アウトドア用品販売、キャンプ場運営
株式会社 アクアクララ水戸　代表取締役
　宅配ミネラルウォーター製造・販売
役　　職　水戸商工会議所　副会頭
(一社)水戸観光コンベンション協会　副会長
特定非営利活動法人WaterDoors　理事長
学　　歴　獨協大学卒業
趣　　味　登山、トレイルランニング、旅

水と衛生月間によせて

国際ロータリー第2820地区ガバナー
大久保　博　之

今月は国際ロータリークラブの「水と衛生月間」です。毎年３月に行われる重点分野の一つです。この月間では、具体的には地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な水設備と衛生設備の設置を目指しています。

そのために資金調達、維持管理を地域住民が行っていくための能力向上をめざします。日本にいると感じませんが、世界の多くの国では安全な水と衛生が担保されていません。日本人は水と安全はタダだと思いがちですがこれは稀有な幸福な国だからです。

これからも国際ロータリーでは地域住民の認識を高めるためのプログラムを支援、水と衛生に関連した仕事に従事する専門職業人のための奨学金支援などの活動を行ないます。

いくつかの例を挙げてみましょう。

例えば、ガーナでは、地元の団体と協力し、4,000 人の人たちが利用できる雨水貯水タンクと配水センターを設置しました。また、地元の女性や 35 校の学生に研修も提供しました。水と衛生月間は、ロータリーの理念である「奉仕の精神」を体現する機会でもあります。ロータリーの奉仕の中には、すべての人がきれいな水を利用できるようにするために、あなたにもできることがあります。

疾病との闘い、平和の推進、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展、環境の保護などの活動に目を向け、グローバルな課題解決に挑戦していきましょう。

第 44 回ライラセミナー報告

青少年奉仕　総括委員長
高　田　稔　美
（つくば学園ＲＣ）

国際ロータリー第 2820 地区第 44 回ライラセミナーを 12 月 16 日（土）、12 月 17 日（日）水戸市少年自然の家にて開催いたしました。テーマは「VUCA の時代をどう生きるか」昨年度に続いて 1 泊 2 日での開催となり青少年受講生 22 名、ロータリアン 40 名の参加をいただき無事に修了することができました。また地区内各クラブから青少年奉仕委員長の皆様、第 2820 地区青少年奉仕委員会の皆様にも多数ご参加いただき設営にご協力いただいた点も御礼申し上げます。

開講式では大久保博之ガバナー、大髙司郎ガバナーエレクト、保延輝文カウンセラーから挨拶と青少年の皆さんへの激励の言葉があり、プログラムがスタート。まずは星野幸子氏による「出会いのオリエンテーション」によりグループ分けされた受講生が仲良くチームを構成することから始まりました。続いて「スポーツ鬼ごっこ」を通じて体を動かし、昼食。すでに若者同士、輪ができていました。講演は渡辺俊介ライラ委員による多様性についてのセミナーと鬼澤慎人氏によるリーダーシップ育成についての 2 本立て。受講生の皆様は真剣に講演を聴き、これからどういった生き方をしていくのか活発なディスカッションが交わされました。夕食後はキャンプファイヤーを催しローターアクター主

導でダンスや歌、ゲームを楽しみました。例年好評のバーベキューが会場の都合で出来なかったのは残念ですが、思い出を作ることができたと思います。消灯まで各グループ一生懸命翌日のプレゼンの準備をしていたことが印象に残りました。2 日目はラジオ体操に始まりディスカッション、プレゼン資料作成、発表、審査結果発表と続き表彰、修了証授与、閉講式では髙原裕地区幹事から総評をいただき皆で記念撮影をしてプログラムを終えました。アンケート結果からも受講生が真摯に受講し、貴重な経験をできたことがうかがえます。

セミナーにお力添えいただいたすべての皆様に心から感謝を申し上げ、ご報告にかえさせていただきます。ありがとうございました。

地区ローターアクト活動報告

地区ローターアクト代表
青　木　菜　摘
（水戸ＲＡＣ）

日頃より地区ローターアクトの活動にご支援賜りありがとうございます。本年度地区ローターアクト代表を務めております、水戸ローターアクトクラブ所属の青木菜摘と申します。

コロナ禍も明け、地区ローターアクトとして12月10日に第2780地区（神奈川西部）の地区大会に、今年度当地区の地区大会をホストする水戸ローターアクトクラブのメンバー計８名で参加して参りました。現状、地区内のアクターは他地区に行ったことがないメンバーが多いことに地区大会実行委員会を発足した際に気がつきました。そこで、ぜひ他地区の地区大会に行くことで、モチベーション向上とアクトの活動にもっと積極的に参加してもらおう！という思いで募ったところ、なんと８名も参加してくれました！！

第2780地区の地区大会では、メインプログラムで横須賀の軍港巡りや、観光名所を横須賀ＲＣの方々、第2780地区アクターの紹介で回りました。2022－2023年度第2780地区の佐藤ガバナーと同じ班で、第2780地区のアクトの現状や会員増強などについていろいろ教えていただきました。

参加したアクターも地区大会に向けて非常に勉強になりましたし、何より友好地区のアクターと交流できたことが今後アクトの活動をしていく上では大きな財産となりました。（お土産にスカジャン買えば良かったかな…とちょっと後悔してます…）

さて、今年度当地区でも４年ぶりの地区大会を開催いたします！！
日時：2024年４月20日（土）
場所：ホテル テラス ザ ガーデン水戸

メインプログラムは魅力度ランキング最下位の茨城県の魅力を感じていただけるプログラムを、水戸ローターアクトクラブ一同で企画しております！

ローターアクトクラブの活動を知っていただく機会となりますので、ぜひローターアクトクラブとあまり関わりがないロータリアンの皆様にも奮ってご参加いただけると幸いです。皆様のご登録を心よりお待ちしております！！！

また、『ローターアクトってどんな活動してるの？』と少しでも興味を持っていただいた際には、予定が合えばぜひローターアクトの活動報告の卓話にも伺わせていただければと思います。

今後とも地区ローターアクトをよろしくお願い申し上げます。

第５分区ポリオ根絶イベント報告

2023−2024年度　第５分区ガバナー補佐
軽　部　守　彦
（下妻ＲＣ）

2023年7月27日（木）～29日（土）までの３日間筑西市下館の祇園祭会場において、ポリオ根絶イベントを行いました。下館駅前の筑西市観光協会のテントを借りて、第５分区７クラブのポリオ根絶のぼり旗を掲げて、うちわを祭り参加者に配布し、ポリオ基金への募金を募るものでした。祭り参加者や見物客で20万人が集まる分区内でも、最大のイベントにロータリーとして参加でき、1,000枚のうちわを配布し、111,969円の募金が集まりました。祭り参加者や見物客が、赤いEND　POLIO NOWのうちわを持ち、ロータリーメンバーが赤いのぼり旗を掲げた様は、ロータリー一色。初日は髙原地区幹事がガバナーから預かった寄付金と分区への差し入れをもって参加していただき、２日目は、新井財団総括委員長パストガバナーも参加していただき、沢山の寄付を頂きました。

イベントには、地元宮田会長率いる下館ロータリークラブの選抜メンバーが交代で３日間参加していただき、初日は、石嶋会長率いる結城ＲＣと皆川会長率いる真壁ＲＣが担当し、２日目は、富岡会長率いる下妻ＲＣと百目鬼会長率いるしもだて紫水ＲＣに担当してもらいました。３日目には坂入会長率いる筑西きぬＲＣと市村会長率いる岩瀬ＲＣに担当してもらいました。各クラブとも５名から10名のメンバーが参加していただき、イベント後には、とても楽しい懇親の場を開くことができ、私と各クラブメンバーとの距離が近づいた気がしました。特に宮田会長には私に付き合って３日間とも、フルで参加していただきました。本当に感謝します。

集まった募金については、８月２日の下館ＲＣの公式訪問時に、私から大久保ガバナー、新井財団総括委員長を通して、増山地区会計長に預けましたので、ポリオ根絶に有効に活用していただければと思います。大成功に終わりました。ご協力に感謝します。

令和６年能登半島地震緊急支援活動

第2820地区緊急支援隊
隊長 **新　井　和　雄**
（下館ＲＣ）

元旦の所作を終え、典雅な雅楽の調べに京の友から贈られた銘酒を傾けたころ、ゆさゆさと始まった揺れはうたた激しく、災いが脳裏を過る。令和６年１月１日午後４時 10 分に最大震度７を観測した能登半島地震が発生したのだった。東日本大震災を経験している我々は被災者の困難を直観するが、日に日に露になっていく被災地の惨状を目の当たりにするとき、支援の手が届きにくい現実に、ロータリアンとして隔靴掻痒の感を覚えた。

能登で地域医療を支える同期ガバナーだった神野正博先生と連絡を取ったのは１月６日のことだった。神野ＰＤＧは、七尾市で恵寿総合病院を経営している。能登半島の広範囲で水道、道路、空港、港湾、役所、病院を始め多くの社会インフラや住宅が破壊され、治療を必要とする被災者が多数現れた。そして恵寿総合病院では、いつもの患者のほかに多くの被災者や診療が出来なくなったクリニックからの患者を受け入れ、業務は通常の２～３倍になったそうだ。そのような困難に直面し、医師や職員も被災者でありながら、碌な食事も摂れない中、こんな時こそ「医療を止めない」を合言葉に病院を動かしているというではないか。

早速、大久保ガバナーに報告し、恵寿総合病院の為の食糧支援を申し出たところ、大久保ガバナーからは即答で、「すぐに実行するように」との指示を頂き、第 2820 地区能登半島地震緊急支援隊を編成した。支援物資搬入までの経過は次のようだ。地区補助金臨時費の申請、地区内会員の皆様に寄付のお願い、食品製造・販売業を営む会員から食糧を調達、水戸市から災害支援車両の高速道路通行許可を頂いた。１月 11 日深夜、４ｔトラック３台とワゴン車１台に支援物資を積み恵寿総合病院に向かった。病院近隣のロータリアンも皆被災者であり七尾ＲＣの事務局も被災したことから、神野ＰＤＧには誰にも連絡しないよう頼んだ。当日も、第 2820 地区だけで搬入するので、神野ＰＤＧ始め職員の皆様には「医療を止めない」業務に専念して頂くようお願いしていた。１月 12 日午前８時恵寿総合病院到着、搬入を始めると神野ＰＤＧが現れ陣頭指揮を執ると徐々に手伝いが増え、あっという間に保管場所に納まった。病院の災害対策本部に報告し支援物資受領書を頂き、神野ＰＤＧから「第 2820 地区のみなさんにロータリーのマジックを見せて頂いた」と感謝の言葉を頂いた。

我々ロータリーは数万人の被災者全員に平等に物資を配布することはできない。他方、疾病治療・透析・出産など、被災地で最も困難な災害弱者の方々に、自らも被災者でありながら「医療を止めない」決意で地域医療を支えている病院のレジリエンスを高めることができた。ロータリーに求められるのは、このような公平性の高い事業ではないだろうか。

そして、資金があっても物が買えない災害直後は食糧支援が、インフラが徐々に復旧してくる今後は、支援金が被災地の役に立ちます。関連動画は下記からご覧ください。

神野理事長 https://youtu.be/BRpEmUjnpus
恵寿総合病院 https://youtu.be/qOpyJoP3T40

国際協議会報告

第2820地区　2023−2024年度ガバナーエレクト
大　髙　司　郎
（高萩ＲＣ）

世界中からガバナーエレクト、パートナー、シニアリーダーが一堂に会する国際協議会（1,000 人規模）が、１月７日から 11 日まで米国フロリダ州オーランドで開催されました。個人的には昨年５月のメルボルン国際大会以来の海外でした。

私は協議会開催の少し前にフロリダ入りしてタンパに数日間滞在、７日昼頃国際協議会の会場である Rosen Single Creek に到着しました。ホテル玄関に到着すると、既に会場入りしてた佐藤ＲＩ理事ご夫妻や水野ＲＩ理事エレクトご夫妻、ＲＩラーニングファシリテーターの中谷様ご夫妻、中川様ご夫妻、安間様がホテルロビーで出迎え、歓迎してくれました。

協議会はガバナーエレクトのハイライトであり、世界中の約 530 地区のガバナーエレクトとパートナーが参加しました。最初の驚きは、会場のローゼン・シングルクリーク（オーランドで一番大きなコンベンション付ホテル）の規模、余りの大きさに慣れるまではホテル内で迷子になりそうでした。国際協議会は、全参加者による本会議とグループに分かれての分科会で構成され、４日間同じ行程で実施されました。

７日の初日は登録と歓迎レセプションがガーデンテラスで執り行われました。８日は９時から開会本会議がありステファニー A・アーチックＲＩ会長エレクトのテーマ「ロータリーのマジック」が高らかに発表され、これに呼応して会場はヒートアップ、大きな拍手でテーマを歓迎しました。初めての体験であり、まさに国際協議会最高のハイライトがここに集約された感じでした。その後、分科会、昼食会／会長との記念撮影、第２回本会議、第２回分科会、夜はビュッフェ形式の夕食とネットワークつくりの時間が盛大に執り行われました。

毎日９時から 17 時、若しくは 18 時前まで。期間中７回の本会議セッションと８回の分科会があり、その後夕食が１時間半くらい続き散会となります。ワークショップ形式や諸外国のガバナーエレクトとの分科会もあり同時通訳されました。

10 日には、文化交流の展示があり、会場内に参加された国々のブースが設けられ、様々な工夫がなされ素晴らしい交流の機会となりました。日本のブースでは参加されたパートナーのご協力により大いに盛り上がり、大谷翔平選手の「ホームラン兜」は大人気でした。

日本各地のガバナーエレクトは、ほぼ一日中行動を共にするため、連帯感は高まり、情報交換が盛んになり、絆が深まりました。この協議会を通して、次年度ＲＩ会長テーマの理解を深め、ＲＩの目指す方向が確認できました。なお、詳細はこれからの三大セミナー等様々な機会を通して、順次ご報告させていただきます。当地区にとって実りある１年にいたします。どうか１年間私に皆様のお力をお貸しくださいますようお願いいたします。

2024 − 2025 年度 三大セミナー開催日程のご案内

セミナー名	日　程	会　場
地区チーム研修セミナー（DTTS）	2024年３月３日（日）	ホテル テラス ザ スクエア 日立
会長エレクト研修セミナー（PETS）	2024年３月23日（土） 24日（日）	ホテル テラス ザ スクエア 日立
地区研修・協議会（DTA）	2024年４月14日（日）	ホテル テラス ザ スクエア 日立 シビックセンター

ガバナー公式訪問報告

幹事　**大　津　正　夫**
（水戸東ＲＣ）

９月 28 日（木）、大久保博之ガバナー、井澤卓司第３分区ガバナー補佐、髙原裕地区幹事、増山英和地区会計長、齋藤佳昭地区副幹事、川上英則ガバナー補佐セクレタリーをお迎えし、ガバナー公式訪問を開催しました。

御一行到着後、「見て覧（ミテラン）」ガイド候補地である吉田神社、備前掘りを見学して頂きました。

当クラブ例会場である水戸三の丸ホテルに移動し、会長・会長エレクト・幹事・副会長・副幹事にてガバナーとの協議を行いました。

例会時には新会員の助川悟志氏の入会式もあり、水戸東ロータリークラブ入会式名物くす玉割に大久保博之ガバナーにも立ち会って頂け、思い出に残る入会式となりました。

大久保博之ガバナーの公式訪問記念卓話は、パワーポイントを使用し、ロータリー歴の浅い会員にも分かりやすい内容の卓話を頂きました。例会終了後、記念撮影を行い、クラブ協議会へと順調に進み、クラブ協議会に於いては活発な意見交換が行われ、大久保博之ガバナーより貴重なアドバイスを頂きました。

最後になりますが、大久保博之ガバナーはじめ地区役員の皆様におかれましては、過密なスケジュールのなかでの御来訪に心より感謝申し上げます。有難う御座いました。

ガバナー公式訪問報告

幹事　**緑　川　条　二**
（土浦中央ＲＣ）

令和５年10月４日（水）大久保ガバナー、鶴田第６分区ガバナー補佐、髙原地区幹事、荒川地区副幹事、福田ガバナー補佐セクレタリーを例会場であるホテルマロウド筑波にてお迎えしました。２期続けての大峯会長年度であると共に、大久保ガバナーのとても温かいお人柄のおかげですぐに和やかな雰囲気になりました。

まず、奉仕作業を行っている小町の館へ移動しました。時期が過ぎている為、管理している藤棚等はご覧いただけませんでしたが、体験館、小野小町ギャラリー、特産物販売コーナー等をご覧頂き、大久保ガバナーからは「とても素晴らしい場所ですね。」とお褒めの言葉をいただき、後日奥様を連れてまた来たいとおっしゃっていただきました。

例会場に戻りガバナー・会長・幹事協議会を行い、その後会員と合流し無事点鐘。

昼食後、ガバナー卓話があり、ガバナーの就任が認められるための最後のハードルであるアメリカで行われる１週間のカンヅメ研修会（国際協議会）の話や、大久保ガバナーが代表を務める学校法人リリー文化学園での行動基準や取り組みの様子等、映像を視聴しながらお話しいただきました。その後、全員で記念写真撮影を行い、引き続きクラブ協議会を開催しました。各担当委員より活動方針の発表があり、特に前年同様会員増強について、討議しました。

大久保ガバナーからは、全てが同じようなクラブでは仕方ない。特色のあるクラブ作りが必要。水戸ＲＣでは、歴史と伝統ある先進クラブというスローガンで、例会などは今までの歴史と伝統を守り、奉仕活動などは常に新しい事を取り入れ活動しているとの事でした。また、水戸南ＲＣや水戸さくらＲＣを例に出し、様々なアドバイスを頂きました。その後、髙原地区幹事より、週報を製本し記録に残すこと、マイロータリー登録のお願い等ご要望がありました。今後スムーズなクラブ活動、奉仕活動を行う為にも、クラブ戦略計画にも掲げた通り、会員数20名体制にするべく（特に若年層や女性会員の発掘）最大限の努力を行う事を約束し閉会となりました。

終始和やかな雰囲気で、鶴田第６分区ガバナー補佐からはクラブの独自採点で100点を頂くなど、大変充実した心に残る公式訪問となりました。

大久保ガバナー、鶴田ガバナー補佐ご指導ありがとうございました。

ガバナー公式訪問報告

幹事　沼　田　真　一
（土浦ＲＣ）

2023年10月5日（木）、大久保ガバナーをはじめ髙原地区幹事、増山地区会計長、関根地区副幹事、鶴田第6分区ガバナー補佐、臼田ガバナー補佐セクレタリーと多くの方々をお迎えしてガバナー公式訪問が執り行われました。

10時から「見て覧（ミテラン）」掲載場所を訪問、地区補助金活用事業を行った土浦市立図書館の見学後、安藤土浦市長を表敬訪問しました。

11時からの午前協議では、会員増強や退会者を減らす事について、ガバナーより水戸の活動を例に常に声かけをして一人にしない事や、同好会を通して距離を縮め仲良くなる事が良いのではないかとの話しがありました。

そして、12時30分からの例会では卓話を頂きました。今年度の地区のスローガン「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」の説明や、ガバナーのロータリーに対する考え方を伺って、地区の方向性やガバナーの奉仕観が理解出来ました。

さらに、14時からのクラブ協議会では、各委員会の事業計画説明・進捗状況報告・今後の計画等に対し、ガバナーより温かで適切なご指導を頂戴し、各委員会の励みになったと思います。ありがとうございました。

最後になりますが、大久保ガバナーはじめ地区委員の皆様におかれましては、健康に十分留意されて、今後、益々ご活躍なさる事を祈念してガバナー公式訪問の報告とさせて頂きます。

ガバナー公式訪問報告

幹事　**長谷川　孝　夫**
（石岡ＲＣ）

令和５年 10 月 11 日（水）に石岡プラザホテルにて、大久保博之ガバナー、鶴田一郎ガバナー補佐、髙原裕地区幹事、増山英和地区会計長、宮﨑雅彦地区副幹事、菊地泰正セクレタリーの６名をお迎えし、公式訪問を開催いたしました。

ご到着後に玄関前にて写真撮影を行い、その後「見て覧（ミテラン）」に掲載されます、『常陸風土記の丘』と『常陸國総社宮』の２か所を訪問していただきました。

常陸風土記の丘では、巨大な獅子頭を見て頂きました。また、こちらは TV 等でも多く紹介されている桜の名所でもあり開花時期になると県内・外から多数の方がいらっしゃいます。

その後は常陸國総社宮に伺い、根宜さんに歴史ついてのお話や建物等についてご説明を頂きました。毎年９月に行われる「石岡のおまつり常陸國総社宮例大祭」が有名であり、今年も３日間で 50 万人程度の人出がありました。

当日は秋晴れで天候にも恵まれ、改めて石岡市の歴史と名所に皆さんをご案内する機会を頂き、クラブとしてもとても良かったです。

例会場に戻り、事前協議会を行いました。当クラブの活動状況・計画を大久保ガバナーへ報告いたしました。他クラブのお話をお聞かせ頂く事が出来て、ヒントを頂きとても参考になりました。

12：30 からの例会では、大久保ガバナーからパワーポイントを使っての自己紹介や地区目標、大久保ガバナーの職業奉仕から「学校教育英国のリーダーを育てるパブリックスクール」の教えについてのお話をいただきました。

記念撮影を行い、クラブ協議会において、当クラブの課題であります会員増強についても含め、各委員会に対して、大変分かりやすいアドバイスを頂きました。クラブ全体で各委員会の目標や課題等について改めて考えることができました。

大久保ガバナーをはじめ、地区役員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご訪問を頂き、ご指導を賜り、会員一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

12月会員増強報告

分区	クラブ名	会員増強報告（単位／人）								
		本年末会員目標	期首会員数	12月実績		本年度累計			2023年12月末日	うち女性
				入会	退会	入会	退会	純増		
第1分区	日立	74	72	0	1	0	2	−2	70	3
	日立南	34	32	0	0	3	1	2	34	3
	高萩	30	26	1	0	1	0	1	27	0
	北茨城	28	25	0	0	1	0	1	26	3
	日立港	35	33	0	2	1	2	−1	32	3
	日立北	30	28	0	0	0	1	−1	27	0
	日立中央	20	18	0	1	1	1	0	18	2
	合　計	251	234	1	4	7	7	0	234	14
第2分区	那珂湊	25	23	0	0	0	1	−1	22	1
	常陸太田	31	29	0	0	0	0	0	29	6
	大子	23	21	0	0	0	0	0	21	2
	大洗	18	15	0	1	3	1	2	17	0
	勝田	27	25	0	0	1	0	1	26	4
	東海那珂	34	32	0	0	2	0	2	32	0
	ひたちなか	23	21	0	0	0	0	0	21	2
	合　計	181	166	0	1	6	2	4	168	15
第3分区	水戸	125	124	0	2	8	3	5	129	5
	笠間	17	15	0	0	1	0	1	16	0
	水戸西	73	71	0	3	1	3	−2	69	13
	水戸南	80	77	0	0	0	0	0	77	12
	友部	21	17	0	0	1	0	1	18	0
	水戸東	67	62	0	2	2	2	0	62	4
	水戸さくら	49	36	0	4	9	4	5	41	6
	水戸好文	18	16	0	0	1	0	1	17	16
	合　計	450	418	0	11	23	12	11	429	56
第4分区	古河	54	51	0	0	0	1	−1	50	3
	境	32	29	0	0	0	0	0	29	0
	岩井	9	6	0	0	2	0	2	8	1
	古河東	53	51	0	2	1	2	−1	50	16
	古河中央	50	46	0	0	2	1	1	47	5
	合　計	198	183	0	2	5	4	1	184	25
第5分区	下館	35	29	0	0	1	1	0	29	3
	結城	26	24	0	0	0	1	−1	23	0
	真壁	16	15	0	0	0	0	0	15	0
	下妻	64	61	0	0	1	0	1	62	6
	しもだて紫水	53	51	0	0	1	0	1	52	4
	筑西きぬ	16	11	0	0	1	0	1	12	2
	岩瀬	22	20	0	0	0	0	0	20	0
	合　計	232	211	0	0	4	2	2	213	15
第6分区	石岡	18	17	0	0	0	0	0	17	0
	土浦	51	48	0	1	0	3	−3	45	8
	土浦南	89	87	0	1	1	1	0	87	7
	つくば学園	103	101	0	2	3	4	−1	100	0
	石岡87	26	24	0	0	1	0	1	25	0
	土浦中央	13	11	0	0	0	0	0	11	0
	つくばシティ	58	53	1	0	2	1	1	54	8
	阿見	16	13	0	0	2	0	2	15	1
	つくばサンライズ	14	13	0	1	0	1	−1	12	5
	合　計	388	367	1	5	9	10	−1	366	29
第7分区	竜ヶ崎	35	34	0	0	0	0	0	34	5
	水海道	55	53	0	0	0	0	0	53	2
	取手	18	16	0	0	0	0	0	16	0
	牛久	39	38	0	0	0	0	0	38	3
	守谷	5	3	0	0	0	0	0	3	0
	龍ケ崎中央	10	7	0	0	2	0	2	9	2
	合　計	162	151	0	0	2	0	2	153	12
第8分区	鉾田	30	29	0	1	0	1	−1	28	0
	鹿島臨海	45	44	0	1	0	2	−2	42	5
	玉造	11	8	0	0	0	0	0	8	1
	波崎	15	13	0	0	0	0	0	13	1
	鹿島中央	22	20	0	0	1	0	1	21	2
	合　計	123	114	0	2	1	3	−2	112	9
茨城Eクラブ		13	11	0	1	0	2	−2	9	3
地区合計		1998	1855	2	26	57	42	15	1868	178

※期首とは7月1日の午前0時時点、末日とは当日末日午後12時時点とする。

新会員紹介

東海那珂ＲＣ
中野　修生
■入会日
2024 年 1 月 10 日
■職業分類
人材派遣

常陸太田ＲＣ
鴨志田　悟
■入会日
2024 年 1 月 10 日
■職業分類
市議会議員

日立港ＲＣ
紺野徹太郎
■入会日
2024 年 1 月 11 日
■職業分類
生コンクリート製造・販売

■訃　報　謹んでお悔やみ申し上げます。

つくば学園ＲＣ
布川　　博
（享年　80 才）
昭和 18 年 6 月 2 日 生
令和 5 年 12 月 18 日 ご逝去
創立会員
税理士

■ロータリー歴
クラブ幹事（平成３年７月～平成４年６月）
■寄 付 歴
PHF ＋３
米山功労者 第８回マルチプル

映画会「祈り―幻に長崎を想う刻」平和な世界の構築を目指して

地区青少年奉仕　総括委員長
高　田　稔　美
（つくば学園ＲＣ）

このたび映画の上映を通じて平和な世界について皆様と考え、行動に繋げる機会として映画の上映を企画しました。下記 QR コードよりお申し込みください。先着順となっておりますが、是非お子様、お孫さんとご参加いただければ幸いです。皆様のお申し込みお待ちしております。

日　時：令和６年４月 21 日（日）
開場：８時 30 分　開会：８時 45 分
閉会：11 時 45 分
会　場：水戸市民会館　中ホール
参加費：無料

【災害支援金の送金のご報告】

地区内のとりまとめが終了し、第 2540 地区の災害支援指定口座に送金いたしました。また、淡路　徹ガバナーより感謝のお言葉を頂戴いたしましたことも併せてご報告申し上げます。

秋田、五城目に計3400万円
県内外RCの寄付贈る

■支援先：国際ロータリー第 2540 地区（秋田県）「秋田 豪雨災害支援のため」
■支援金総額：172 万 8000 円

【希望の風奨学金 送金のご報告】

地区内 55 クラブの公式訪問が終わりまして、訪問時に皆様よりお預かりいたしました希望の風奨学金のとりまとめが終了いたしました。よってロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会「ロータリー希望の風奨学金」へと送金をいたしました。

■支援先：ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会
■支援金額：166 万 5000 円

【ジャージャルコート地震 災害支援送金のご報告】

地区内クラブからのご支援のとりまとめが終了し、ネパールへ送金いたしました。

■支援先：カトマンズ ＲＣ（ネパール）
「全壊した学校の仮設校舎建設のため」
■支援金額：92 万 500 円

【ウクライナ支援送金のご報告】

地区内クラブからのご支援のとりまとめが終了し、ウクライナへ送金いたしました。

■支援先：ＲＣ ルーツク・ヴォルィーニ・プライド（ウクライナ）「女児のエンパワメントのため」
■支援金額：186 万 1000 円
■支援先：ラキウ・センター・オブ・ヨーロッパＲＣ（ウクライナ）「子供たちへのクリスマスプレゼントのため」
■支援金額：44 万 1000 円

皆様からの温かなご支援ありがとうございました。ウクライナから感謝のお手紙がとどきましたので、ご紹介させていただきます。

感謝の報告

第 2232 地区　ラキウ・センター・オブ・ヨーロッパＲＣ　ユラ・フェダック

私たちのクラブ「ラキウ･センター･オブ･ヨーロッパ」は､ラキウ市障害者複合リハビリテーションセンターとインクルーシブ・リソース・センターの子どもたちのためにクリスマスイベントを開催しました。コンサートのプログラムは、子どもと青少年の発達センターが担当しました。そして、イベントは文化の家で開催されました。私たちは、学用品やぬいぐるみ、お正月グッズなどのプレゼントを届けました。これは、第 2820 地区からの支援金により実現したものです。大久保ガバナーに感謝の意を表します。

そして、小さな感謝の瞳を見るのは、なんと嬉しいことでしょう。この子供たちは、聖ニコラスと私たちがもたらした本当の奇跡を見ました。善行と奇跡への信仰で、私たちは世界をより良い場所にします！（意訳 新井和雄ＰＤＧ）

ガバナーノミニー・デジグネート確定宣言

国際ロータリー第 2820 地区
ガバナー　大久保博之
指名委員長　髙橋　賢吾

第５分区しもだて紫水ロータリークラブより推薦を受けた、ガバナーノミニー・デジグネートについて、ガバナー指名委員会で審査され承認されました。２月の月信での公示を経て、藤木章吉氏が国際ロータリー第 2820 地区ガバナーノミニー・デジグネートに確定致しましたことをここに宣言致します。

氏　　名：藤木　章吉（ふじき しょうきち）
所属クラブ：しもだて紫水ロータリークラブ
生年月日：1948 年４月 13 日
入会年月日：1988 年６月 30 日
職　　業：株式会社　楠原管工業　代表取締役
職業分類：管工業
学　　歴：結城第一高等学校

ロータリー歴：2004 − 2005 年　クラブ会長
2009 − 2010 年　地区米山記念奨学会学友委員長
2010 − 2011 年　地区第５分区ガバナー補佐
2012 − 2015 年　地区職業奉仕総括委員長
そ の 他：ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（11 回）、ベネファクター、マルチプル米山（７回）

スケジュール

３月　２日（土）　米山終了式
（ホテル日航つくば）
３月　３日（日）　2024 − 2025 年度
地区チーム研修セミナー
（ホテル テラス ザ スクエア 日立）
３月　９日（土）　2024 − 2025 年度
Ｒ財団補助金管理セミナー
（水戸三の丸ホテル）
３月２３日・２４日（土・日）
2024 − 2025 年度
会長エレクト研修セミナー
（ホテル テラス ザ スクエア 日立）

LINE 公式アカウント　@103mbrqx
友だち募集中
第2820地区公式ＬＩＮＥを開設いたしました。
ＬＩＮＥアプリより友達登録をしていただくと、
地区からのお知らせや月信がご覧いただけます。
LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください

コラム 私の思い

（私論） やせ我慢は社会のソフトインフラ

ガバナー　大久保　博之

アメリカの資本主義が、よちよち歩きで、弱肉強食のころ（今の中国やロシアのような状況かも知れません）大恐慌（1929～1933）が起こる少し前、シカゴではアル・カポネなどギャングたちがマシンガンでドンパチとやってた時です。アメリカの市民は立ち上がりました。「このまま強いものだけが生き残るような状況では社会がもたない。社会奉仕が必要だ。」

ロータリークラブという奉仕団体が1905年シカゴでできたことに始まり、青年会議所（通称ＪＣ）が1910年イリノイ州の隣のセントルイスで、さらにキワニスクラブが1915年隣のデトロイト州ミシガン市で、1917年にはライオンズクラブ国際協会がやはりシカゴで創立されました。1922年にはその隣オハイオ州においてワイズメンズクラブが誕生しました。これらの団体は今、世界中に広がっています。

その、根底には米国的ピューリタニズム（新教徒精神）があると思います。ピューリタニズムに潜む「自己犠牲の精神」平たく言えば「やせ我慢」の心がバックボーンに、精神的なインフラとしてあったからこそ、公正、公平、博愛、奉仕の精神が生まれ、資本主義も修正されつつ発展したのです。

日本が明治以降いち早く先進国の仲間入りできたのは、武士道精神「武士は食わねど高楊枝」のストイックな「やせ我慢精神」が活きていて、教育レベルと民度が高く、途上国としては恐ろしく賄賂が少ない実力主義（特に、教員と軍人）という精神風土があったからだと言われています。

英国で生まれたスポーツは、サッカーでもラグビーでも、ゴルフでも、少々の雨でも嵐でも、場合によっては雪でもやりますが、これなど考えようによっては「やせ我慢」の極致であります。ボート競技などは、船をこぐ奴隷の苦しみも、エリートは味わっておく必要があるとばかりに始められたと聞きます。しかしこのジョンブル精神が生き生きと生きていたころの大英帝国は世界の覇者でありました。

およそ人の社会はみな経済原理（つまり損得そろばんで）基本的に動いているのですが、その中でも社会や国家のため、あるいは広く人類の為に志を持って「やせがまん」をして働く人がいます。いや誰もが心に何パーセントかは（人によっては何十パーセントか）持っているといったほうが正確かも知れません。

ただし、その自己犠牲、奉仕の目標は、誰に強要されるものではなく、個人の自由意志で決めるべきものです。そこが戦前の自己犠牲とは異なるべきでありましょう。

茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」入手方法について

下記の内容をご覧頂き、ガバナー事務所「見て覧（ミテラン）」専用口座にご寄付をお願いいたします。

●「見て覧（ミテラン）」入手方法：５冊単位でお受けいたします。（HP にて申し込み書掲載あり）
1 冊あたり 1,000 円の寄付＋送料 370 円（５冊毎）
（例）10 冊ご注文の場合 10,740 円をお振込みお願いいたします。

●送金明細書をガバナー事務所に FAX かメールにて送信をお願いいたします。（FAX：029-246-5766）

●送金先：国際ロータリー第 2820 地区　ミテラン会計長　増山　英和
（コクサイロータリー　ダイニセンハッピャクニジュウチク
ミテラン　カイケイチョウマスヤマヒデカズ）
常陽銀行 本店営業部（００４）普通 ３９１６０６５

●「見て覧（ミテラン）」の発送元は「戸田産業株式会社」となります。

編集後記

最近よく「ウェルビーイング」という言葉を耳にします。直訳すると「良く、居る」と読めますが、生きがいを持ち、周囲との良好な関係性のもとで、充実した生活を送っていて、「身体的・精神的・社会的」に、すべてが満たされた状態を言うそうです。組織マネジメントにおけるキーワードは、「やりがい・貢献感・ワークライフバランス・コーチング・学び合い」など。組織内において、スタッフひとり一人が「こころ」も「からだ」も健康であってこそ、「自」から「他」に意識を向けることができ、所属する組織にもひいては社会に対してもポジティブな行動が生まれると言われております。私自身、ロータリークラブはじめ企業・団体、趣味の会など、様々な組織に所属しています。自ら率先してウェルビーイングあふれる組織にして参りたいものです。（山口政美）

Rotary 第2820地区

国際ロータリー第 2820 地区　ガバナー事務所

〒310-0015 茨城県水戸市宮町１－７－20　ホテルテラス ザ ガーデン水戸１階
TEL：029-246-5766　FAX：029-246-6533
E-mail : 23-24@rid2820.jp　ホームページ：http://www.rid2820.jp